

# 播州歯技だより十七号

二〇二二年三月発行

兵庫県歯科技工士会播州地区

令和三年度を終えて

地区長 壺坂英哉

本年度も新型コロナウイルス感染症に翻弄された年でした、技工士会の活動も県と地区共感染の拡大の繰り返しで縮小を余儀なくされ歯科医師会の活動も慎重になり歯科イベントも殆ど行われない状態でした。一方オンライン web 開催は学会や学術講習会で行われており参加するほうは遠方の開催でも簡単手軽でええんですが開催者側は県技の様子を見てても大変やなあと思つています。

歯科業界では磁性アタッチメントを使った有床義歯や CAD-CAM インレー補綴が保健適用になったりと我々技工士も勉強して対応していきましょ

。新年度が始まりますが感染がおさまり色んな活動が再開されるよう期待しましょ。

令和三年秋の叙勲受章者

高田 明典

この度は令和三年秋の叙勲に際して「旭日双光章」を賜りました。これも皆様方のご指導、ご支援の賜物と深く感謝しています。令和三年になって野島事務長との書類作成のやり取りが何回もあり、九月十六日に兵庫県健康福祉部健康局医務課から連絡があり「旭日双光章」を内定されました。この言葉をいただきました、しかし十月の決定までは外にはもらさないようにと釘を刺されましたが嫁さんと山口会長に

だけは伝えておきました。十月二十六日に決定するのですがその前日に電話があり元気であることの確認され、二十六日に決定したことの連絡がありました。そして文化の日に新聞

等の報道取材の便宜を図ることを目的として、氏名、年齢、性別、授与勲章、功労概要、主要経歴、現住所、本籍都道府県名についての情報が報道機関に提供されます。その前に新聞記事が訪ねてくるかもしれませんと云われました。宅見さんにどんなことを聞かれるのか教えてもらい、こんな質問にはこう答え、あんな、質問にはこう答えと考えていました。当日になり神戸新聞の女性記者が考えていたことは聞かれずに世間話をして「口の中と身体」は関連」している話もしたり30分位で終わり、どんな記事が載るのか気になっておりました。文化の日には名前が載っていましたが記事は10日に載りました、宅見さんの時に似たような記事が搭載されていました。その日は昔の知り合いからの電話をもらっ

たりして嬉しかったです。この受賞に満足せずにまだまだ歯科技工の学術講習会、デジタル技工に力を注いでいきたいと思っています。

## 対岸の火事ではない現実

神田 聡

この会報を編集をしている最中、ロシアのプーチン大統領がウクライナにロシア軍を進行させました、去年の12月に国境付近に19万軍隊を駐在させ威嚇をしていましたが、ウクライナ東部の親ロシア派「ドネツク人民共和国」と「ルガンスク人民共和国」の独立国家の承認を得た途端の派兵です。2014年にあったウクライナの政変で親ロシア派政権に反対する大規模なデモにより親欧米の暫定政権が発足、

それに対してロシアはウクライナ領土のうちロシア系住民が多い南部クリミア半島に攻め入ると、一方的に自国領土であると宣言しました。クリミア併合と東部紛争、それ以来両国に亀裂が入ったのです。ロシアの天然ガスに依存していたエネルギー問題も欧米西側諸国に大まかに移す事で「供給を止めるぞ」という脅し文句が利かなくなりEUやNATO（北大西洋条約機構）への加盟に向けて積極的に動き出したのが2021年の初頭でした。旧ソビエト連邦にとっては始祖国になるウクライナ、その地域が西側諸国の勢力範囲、ましてNATO 加盟国になるとアメリカがしゃしゃり出てくる事態など到底考えられなかったのでしょうか。

1991年、旧ソビエト連邦は崩壊しウクライナは、独立を果たしました。この時、ウクライナ領内には約1000発の核弾頭が取り残されていました。ウクライナは独立国として、この

核弾頭保持の意向を表明したが、ロシアはもちろんのこと、米国、英国が核拡散防止の観点からこれに強く反対した。

ウクライナに対し、核不拡散条約（NPT）への加盟と、核兵器の撤去が求められ、その条件として、「領土保全、政治的独立」に対する安全保障を3か国（米、英、ロ）が提供することで合意された、これが「ブタペスト覚書」（1994.12.5）です。フランス、中国はこの趣旨に賛同し、別々の書面で同様にウクライナに安全保障を提供した。国連の常任理事国（核保有国）がこぞってウクライナに対し、核兵器の撤去を条件に安全保障を約束したわけですが条約や保障など何の意味もないことが露呈されましたね。侵攻ではなく侵略と言いつける今回の戦争、核戦略をちらつかせて欧米諸国も手出しが出来ない様にするありさま、もしこのやり方が通用するとなればあの中共も同じ事をするはずですが、決して「対岸の火事では無い」と肝に銘じて頂きたいです。

# 令和三年度後期総務報告

三浦 雅志

十一月二十八日 第3回播州地区ABC会議

龍野経済交流センター

令和四年

一月八日 姫路市歯科医師会新年会

姫路キャッスルホテル 壺坂

一月三十日 高田明典氏旭日双光章受賞記念

播州地区新年会併催 ホテル日航姫路

二月二十七日 第4回播州地区ABC会議

龍野経済交流センター





## 福祉厚生報告

小松 久和

お悔み

令和三年九月十一日 第二ブロック 筒井清仁氏（母）

令和三年十一月二三日 第二ブロック 牧野守晃氏（父）

令和三年十二月五日 第二ブロック 筒井清仁氏（父）

謹んでお悔やみ申し上げます

おかげさまで「播州歯技だより十七号」を発行する事が出来ました。なにより会員の皆様の原稿あつての会報です。

どんな些細な事、身の周りで起きた出来事、社会批判等なんでも結構ですので お知らせください。次回第十八号ですが、

二〇二二年八月中旬頃までに送って頂ければ幸いです。よろしくお願い致します。

広報 神田 聰

## 播州地区メーリングリスト登録募集中

技工士会播州地区各役員 県理事 各個人からの

E-MAIL 連絡として現在二十四名の会員登録済みです、携帯

端末 パソコン等のメールアドレスを連絡して頂ければ登録いたします。

[satchijunshu@gmail.com](mailto:satchijunshu@gmail.com)

## 会報掲載記事募集！

会員の皆様の近況報告 趣味等、身近な出来事 文章は短くてもかまいません よろしくお願い致します。

[satchijunshu@gmail.com](mailto:satchijunshu@gmail.com)

一般社団法人兵庫県

歯科技工士会播州地区

地区長 壺坂 英哉

広報 神田 聰

